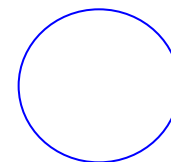
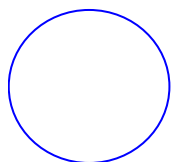


機上等技術に関する研究について

電子航法研究所 機上等技術領域長
田嶋 裕久



プログラム

8. 大規模数値解析を用いた航空機電磁環境推定 (ニッ森 俊一)
9. マルチパス干渉が信号環境に与える影響 (小瀬木 滋)
10. SSRモードSによる航空機選択情報の取得について (古賀 禎)
11. 拡張スキッタによるTIS-Bの開発・評価 (大津山卓哉)
12. 発話音声から算出する脳活性度指数の信頼性 (塩見格一)

昼休憩 質問コーナー(講演番号8~12)12:20~12:40

8. 大規模数値解析を用いた 航空機電磁環境推定

- ※ ニッ森 俊一、河村暁子、米本成人
(機上等技術領域)、
日景隆(北海道大学)、野島俊雄(北海道大学)
- 電磁干渉や機内電波伝搬特性の推定が目的
- 航空機内外の電磁環境を推定するために、
北海道大学と共同研究で実施
- スーパーコンピュータを用い並列演算法を適用
- 旅客機全体の電磁環境を検討できる

9. マルチパス干渉が 信号環境に与える影響

- ※ 小瀬木 滋、大津山 卓哉、
古賀 禎 (機上等技術領域)、
住谷 泰人 (通信・航法・監視領域)
- 二次監視レーダ (SSR) 等において、マルチパスを伴う質問信号がATCトランスポンダに誤解读され、余剰な応答動作や誤ったモードの応答信号送信など、想定外の応答動作の原因
- 飛行実験による発生実態の測定結果を基に、信号環境の予測結果に与える影響やその補正方法を報告

10. SSRモードSによる航空機選択情報の取得について

※ 古賀 禎、上島 一彦(機上等技術領域)、
瀬之口 敦(通信・航法・監視領域)

- SSRモードSによる航空機の動態情報，特に航空機上でパイロットが入力した選択高度の取得は航空機の動態予測に役立つ
- SSRモードS調布局による在空機モニタ実験の結果(出力データの状況や対応率など)について報告

11. 拡張スキッタによる TIS-Bの開発・評価

※ 大津山卓哉, 小瀬木滋, 塩地誠,
三垣充彦(機上等技術領域)

- TIS-B
(Traffic Information Service - Broadcast:
放送型交通情報サービス)
- モードS拡張スキッタを使用したTIS-B装置の
開発
- 飛行実験によるシステム評価および装置の応
用について報告

12. 発話音声から算出する脳活性化 度指数の信頼性

※ 塩見格一(機上等技術領域)

- 人間の疲労状態を音声から測定することをめざし、発話音声から算出される脳活性化度指数を算出する装置を開発
- アナログ処理部, A/D変換部, 演算処理部が発生させる誤差
- 有効な運用評価基準の策定のため, 今後実施しなければならない作業等

プログラム

8. 大規模数値解析を用いた航空機電磁環境推定 (ニッ森 俊一)
9. マルチパス干渉が信号環境に与える影響 (小瀬木 滋)
10. SSRモードSによる航空機選択情報の取得について (古賀 禎)
11. 拡張スキッタによるTIS-Bの開発・評価 (大津山卓哉)
12. 発話音声から算出する脳活性度指数の信頼性 (塩見格一)

昼休憩 質問コーナー(講演番号8~12)12:20~12:40